

主日礼拝

2024年02月04日
午前10時30分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「いかに幸いなことでしょう
背きを赦され、罪を覆っていただいた者は。
いかに幸いなことでしょう
主に咎を数えられず、心に欺きのない人は。」
(詩編 32:1, 2)

頌栄 26「グロリア」



信仰告白 使徒信条

われ てん ち つく ぬし ぜん の う ちち かみ しん われ
我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我は
そのひと こ われ しゅ いえす きりすとを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみをうけ、十字架に
つけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に
死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父なる
神の右に坐したまへり、かしこより来りて、生ける
者と死ねる者とを審きたまはん。我は聖霊を信
ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、
身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来させたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32「キリエ・エレイソン」



聖書 ヨハネによる福音書 5:1~18

新約(新共同訳) P171~P172

1 その後、ユダヤ人の祭りがあったので、イエスはエルサレムに上られた。2 エルサレムには羊の門の傍らに、ヘブライ語で「ベトザタ」と呼ばれる池があり、そこには五つの回廊があった。3 この回廊には、病気の人、目の見えない人、足の不自由な人、体の麻痺した人などが、大勢横たわっていた。4+5 さて、そこに三十八年も病気で苦しんでいる人がいた。6 イエスは、その人が横たわっているのを見、また、もう長い間病気であるのを知って、「良くなりたか」と言われた。7 病人は答えた。「主よ、水が動くとき、わたしを池の中に入れてくれる人がいないのです。わたしが行くうちに、ほかの人が先に降りて行くのです。」8 イエスは言われた。「起き上がりなさい。床を担いで歩きなさい。」9 すると、その人はすぐに良くなって、床を担いで歩きた。その日は安息日であった。10 そこで、ユダヤ人たちは病気をいやしていただいた人に言った。「今日は安息日だ。だから床を担ぐことは、律法で許されていない。」11 しかし、その人は、「わたしをいやしてくださった方が、『床を担いで歩きなさい』と言われたのです」と答えた。12 彼らは、「お前に『床を担いで歩きなさい』と言ったのはだれだ」と尋ねた。13 しかし、病気をいやしていただいた人は、それがだれであるか知らなかった。イエスは、群衆がそこにいる間に、立ち去られたからである。14 その後、イエスは、神殿の境内でこの人に出会って言われた。「あなたは良くなったのだ。もう、罪を犯してはいけない。さもないと、もっと悪いことが起こるかもしれない。」

15この人は立ち去って、自分をいやしたのはイエスだと、ユダヤ人たちに知らせた。16 そのために、ユダヤ人たちはイエスを迫害し始めた。イエスが、安息日にこのようなことをしておられたからである。17 イエスはお答えになった。「わたしの父は今もなお働いておられる。だから、わたしも働くのだ。」18 このために、ユダヤ人たちは、ますますイエスを殺そうとねらうようになった。イエスが安息日を破るだけでなく、神を御自分の父と呼んで、御自身を神と等しい者とされたからである。

賛美 531 「主イエスこそわが望み」

Be Thou my vision
詞：アイルランドの賛美歌、8世紀
曲：アイルランド民謡

1 主 イエ ス - こ そ わ が の ぞ ゐ み、
2 主 イエ ス - こ そ わ が つ る ぎ、
3 こ こ ろ - み の 世 に あ り て

わ が あ こ ゝ ろ が れ、 わ が う た。、
わ が よ の ち か ら、 死 の や み

ひ る - も - よ る も み ち び く、
た だ - 主 - こ そ が て わ が か れ、
と り - か - こ そ み が て ま せ

わ が ひ か - り、 わ - が ち か べ ら、
わ が た か - ら、 わ - が す て、
な お 主 こ - そ、 わ - が の ぞ ゐ み。

- 1 主イエスこそ わが望み、
わがあこがれ、わが歌。
昼も夜も みちびく
わが光、わが力。
- 2 主イエスこそ わがつるぎ、
わが喜び、わが盾。
ただ主こそが わが神、
わが宝、わがすて。
- 3 こころみの世にありて
罪の力、死のやみ
とり囲みて 追れど
なお主こそ、わが望み。

説教 「起きよ、自分の床を担いで歩め」

聖餐式

賛美 81-1 「主の食卓を囲み」

詞：新垣正敏、1938-
曲：新垣正敏、1938-
MAHANA THA

1 主のしょくたくをかこーみ、いのちのパンをいただき、
すくいさかずきをのみ、主にあってわれらはひとつ。
(くりかえし)
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみくにがきますように。
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみくにがきますように。

- 1 主の食卓を囲み、いのちのパンをいただき、
救いのさかずきを飲み、主にあってわれらはひとつ。
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。

賛美 446 「主が手をとって起こせば」

詞：今駒善成、1926-
曲：新垣正敏、1938-
KAMI NO MIWAZA

1 主が手をとって おこせば、よろめくあし さ え
2 主が手をのべて さわれば、とじた目はひら き
3 た だ 主を見つめ あゆめば、な みにもし ず ま ず

お どりあゆむ - よ ろ こび。こ れぞかみのみ わ ざ。
ひ かりをみる - う れ しき。こ れぞかみのみ わ ざ。
お それしらぬ しん こ うは、こ れぞかみのみ わ ざ。

- 1 主が手をとって起こせば、
よろめくあし さえ
おどりあゆむよろこび。
これぞ神のみわざ。
- 2 主が手をのべてさわれば、
とじた目はひらき
ひかりを見るうれしき。
これぞ神のみわざ。
- 3 ただ主を見つめあゆめば、
波にもしずまず
おそれ知らぬ信仰は、
これぞ神のみわざ。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏

司式：塩冶 みはる
説教：向井 希夫牧師
奏楽：高橋 孝子
助餐：岡田 知恵子、要田 悟史、
光成 由樹

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。